

母子の心理・社会学

ナンバリング:N3-S2-L02

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、神経精神科学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

周産期における母子や女性・家族の心理社会的背景や発達の基本をふまえ、心理社会的なハイリスク事例がおかれた状況を理解し、対象がより健康で安全な経過をたどることができるための助産ケアのあり方について学修する。具体的には、母子分離、ベリネイタル・ロス、産後うつと児童虐待、DV、特定妊婦、里親制度について学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

周産期における母子や女性・家族の心理社会的背景や発達の基本をふまえ、医療の高度化と複雑化、さらには性や育児をとりまく環境の多様性などの社会的背景を学ぶことで、ハイリスクな環境下で子育てをする母親や家族を心身ともに支えるための助産ケアの在り方について理解できる	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1.母子とその家族が、地域・社会から受ける影響を理解し、それに対する助産師の働きかけを説明できる。 2.母子を守る保健医療福祉におけるサービスを理解し、情報を提供する仕組みと助産師としての役割りを説明できる。 3.母子とその家族の意思を尊重した助産師の役割りを述べる事ができる。 4.女性、妊産婦および家族の社会的、心理的な健康状態をアセスメントし、社会資源の活用方法を列举できる。 5.自主グループと地域組織活動における助産師の役割りを述べる事ができる。 6.チーム医療における多職種の役割りを理解し、女性やその家族を中心とした連携と協働のあり方について説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：東2E、マルチ4A

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/15 火 4限	【授業内容】女性のライフサイクルと心理・社会的課題(ディスカッション) ・超少子高齢社会における妊娠・出産・子育ての状況について述べる事ができる ・ヤングケアラー、ダブルケアの概念を述べる事ができる 【関連するSBO】1.2.3 【事前学修:120分】 ・教科書P2女性のライフサイクルと心理・社会的課題を読み、図1-1を参考に自分の将来的なライフサイクル(プラン)を書く 【事後学修:60分】本日の講義の要点をまとめる	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

4/21 月 3限	【授業内容】家族関係の形成と課題①（ゲストスピーカー） ・妊娠・出産をめぐる諸問題について列挙できる。 ・母子関係の病理（児童虐待、周産期・子育て期のうつ病）の母子関係への影響について述べる事ができる ・貧困のリスク、母親の就労支援の実際について考察する 【関連するSBO】1.2.3 【事前学修：120分】 ・教科書P114 家庭の貧困・低所得が子どもの発達に及ぼす影響と支援についてまとめる 【事後学修：120分】子ども虐待防止「オレンジリボン運動」のリボンを5個作成し、オレンジリボン運動を実施する。取り組みをWebClassから科目責任者にメールで報告する。	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
4/21 月 4限	【授業内容】家族関係の形成と課題②（ゲストスピーカー） 里親家庭、養子縁組の実際について理解する 里親家庭・養子縁組へ助産師としてどのような関わりができるか述べる事ができる 【関連するSBO】1.2.3 【事前学修：90分】 コウボリ 第1シリーズ(2015)14歳の妊娠 少女が母になる時を視聴し不明な言葉などを教科書で調べてから授業にのぞむ 【事後学修：150分】2コマの講義を要約し、さまざまな状況で子育てをする母親への支援について考察する(約800字以上)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/9 金 4限	【授業内容】さまざまな状況で子育てをする母親の心理 障がいをもつ子どもの子育てについて理解を深める事ができる 障がいをもつ子どもの母親と家族に対する助産師の役割について考察することができる 【関連するSBO】1.2.3.5 【事前学修：90分】 ・ダウン症候群の検査・診断、症状について要約する ・公益社団法人日本ダウン症協会のHP「ダウン症のあるお子さんを授かったご家族」を読む 【事後学修：90分】「オランダへようこそ」を読み、本講義内容をふまえた上で障がいを持つ子どもの母親と家族に対する助産師の役割について考察する(約400字以上)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/16 金 4限	【授業内容】ハイリスク状態にある妊婦と家族への支援①/喪失体験へのケア（ディスカッション） ・グリーフケア、ペリネイタルロスの言葉の定義を理解する ・実際の場面を想定し、周産期喪失の家族へのケアについて体験的に学ぶ 【関連するSBO】1.2.3.4.5 【事前学修：90分】悲嘆のプロセスを復習することに加えて、教科書P51NOTE4 周産期喪失の家族へのケアを読んで講義に備える 【事後学修：90分】周産期の喪失体験をした方へのケアについて考察する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/16 金 5限	【授業内容】ハイリスク状態にある妊婦と家族への支援②/周産期メンタルヘルス ・さまざまな状況で子育てをする母親の心理社会的背景を説明できる ・周産期のメンタルヘルスへの介入が母子を支えるうえで重要である理由を述べる事ができる ・切れ目ない支援のために多職種連携の必要性を述べる事ができる 【関連するSBO】4.5.6 【事前学修：60分】ガイドライン産科編2023 CQ011を読む、マタニティーブルーズ、産後うつ病、産褥期精神病の違いを理解する 【事後学修：90分】本日の講義を要約し、支援について考察する(約400字以上 提出)	神経精神科学講座 福本 健太郎 准教授
5/26 月 4限	【授業内容】女性に対する暴力(DV,性犯罪)の予防と支援（ゲストスピーカー） ・親密なパートナーからの暴力の内容を述べる事ができる ・暴力防止に関する法律と支援について理解する 【関連するSBO】4.5.6 【事前学修：90分】性暴力を受けた際の支援機関について、学内の掲示物や配布物を確認し、写真または実物を講義開始時に持参する 【事後学修：90分】本日の講義を要約する	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
5/28 水 1限	【授業内容】総括 ・更年期・老年期女性の発達と心理・社会的課題 ・現行の家族法の基本的ルールと問題点 ・さまざまな状況で子育てをする母親の心理と社会学総括 【関連するSBO】1.2.3.4.5.6 【事前学修：60分】教科書P66 ー78「更年期・老年期女性の発達と心理・社会的課題」を読む。 【事後学修：330分】WebClassにアップした国家試験の過去問題を解いた上で本科目の学びを記述し提出する(1000字以上)	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山キヨ子	医学書院	2023
参	最近の母子保健を取り巻く状況	こども家庭庁	こども家庭庁	2024
参	産婦人科診療ガイドライン 産科編2023	日本産婦人科学会		2023
参	EPDS活用ガイド	宗田聡	南山堂	2017

・成績評価方法

【総括的評価】5/28提示の最終課題レポートにて評価100%
【形成的評価】事前事後課題の提出を求め、適宜フィードバックを行う

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 レポート課題はWebClassへ提出のこと。提出されたレポートは評価後適宜コメントを付し返却する
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表2):助産診断・技術学
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有
大学病院等や行政で医師、助産師、保健師として実務経験を持つ教員が専門領域に関する教育を行う

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影